

数物科学専攻	研究分野	微分幾何学	Lab. ID MP02
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
<p>幾何解析に関する研究: 近年の研究では、完備リーマン多様体上の調和関数と熱方程式、有限エネルギーの調和写像、非再帰的ネットワーク上のポテンシャル論などを扱っている。</p> <p>双曲幾何学に関する研究: 双曲幾何学に関する研究では、二次元及び三次元の双曲空間に関係することを中心に研究を進めている。具体的には、二次元双曲空間についてはリーマン面及びタイヒミュラー空間の三角形分割に関する研究を、三次元双曲空間については多面体の体積の公式に関する研究を進めている。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>各学生の興味と能力に応じて、指導教員は研究テーマを決めます。一般的には、博士前期課程一年生は微分幾何学に関する一般的な教科書を読む事になります。関係する知識の習得が十分に為されたら、それぞれの研究分野を選びます。その分野に関する研究論文を読み、修士論文を執筆する事になります。博士後期課程の学生の場合は、修士論文の内容を発展させることを目標として研究活動を始めます。最新の結果を織り込みつつ、博士論文の準備を進めるのが、博士後期課程の研究活動となります。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>学生は通常、週に一回のセミナーを行います。残りの時間は、自分の研究を行い、次のセミナーに備えます。各学生は、研究室や図書館、または自宅など、各自のやりやすい場所で研究を行います。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>数学を理解することは大変に厳しいことです。どれだけ時間を掛けたとしても、何も分からないということも起こり得ます。例えば、一日中一つの定理を考えたとしても、一日の終わりにはその定理が判るという保証は無いのです。しかしそれだからこそ、数学が判ったと思えたときの喜びは非常に大きいのです。学生たちにも、このような経験をして欲しいと思っています。</p>			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
2016.3	平面的グラフ上の調和関数と正方形分割		
2014.9	非線形ネットワーク上のポテンシャル論の展開について		
2014.3	Morse関数とハンドル体、低次元多様体		
2013.3	無限ネットワークにおけるトムソンの原理とレイリーの単調性法則		
2013.3	回転超曲面の平均曲率について		
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目			
修了年月	タイトル		
研究室連絡先メールアドレス		加須栄篤 <kasue *at* se.kanazawa-u.ac.jp>	